

増補 女人禁制の人類学

相撲・穢れ・ジェンダー

鈴木正崇 著 四六判・並製カバー・400頁・定価3300円

2026年6月刊行



土俵の女人禁制は伝統なのか。初の女性総理誕生で再び話題になった土俵の女人禁制を再論して増補。差別か伝統かの二者択一論の先へ。

まえがき

第一章 相撲と女人禁制

- 1 問題提起／2 大相撲の舞鶴巡業で起きた出来事／3 主役はマスコミ／4 土俵の女人禁制の意識化／5 土俵祭／6 土俵の祭神の変化／7 表彰式／8 神送り／9 表彰式の再検討／10 國技館の開館／ほか

第二章 穢れと女人禁制

- 1 女人禁制への視点／2 堂舎の結界／3 山の境界と開山伝承／4 山林修行・山林寺院・山岳寺院／5 「山の境界」をめぐる女性の伝承／6 境界をめぐる女性性／7 女性の穢れの時代的变化①―山岳登拝の規制／8 女性の穢れの時代的变化②―規定の精緻化／9 女性の穢れの時代的变化③―仏教の影響／10 女性の穢れの時代的变化④―疫病と王権／ほか

第三章 山岳信仰とジェンダー

- 1 ジェンダーの視点／2 女人禁制の概観／3 女人結界の解禁／4 女人結界の解禁とその後／5 歴史の中の女人禁制①―史料の再検討／6 歴史の中の女人禁制②―伝承の再検討／7 習俗としての女人禁制①―恒常的規制と一時的規制／8 習俗としての女人禁制②―拡大と適用／9 習俗としての女人禁制③―海外の事例／10 社会運動の中の女人禁制／ほか

第四章 土俵の女人禁制

- 1 女人禁制の現代／2 女性首相の就任と「土俵の女人禁制」／3 「土俵の女人禁制」を問い直す／4 「土俵の女人禁制」を維持する理由／5 相撲は神事か／6 相撲の「伝統」とは何か／7 神聖な戦いの場、鍛錬の場／8 土俵の神聖性について／9 「土俵の女人禁制」の行方／10 「大峯山の女人禁制」再論／ほか
- 参考文献／図版クレジット
あとがき／増補版 あとがき／索引

◆著者略歴

鈴木正崇 (すずき まさたか)
一九四九年、東京都生まれ。慶應義塾大学大学院文学研究科博士課程修了。文学博士。慶應義塾大学名誉教授。前日本山岳修験学会会長。著書に『中国南部少数民族誌(三和書房)』、『山と神と人』(淡交社)、『スリランカの宗教と社会』(春秋社)、『神と仏の民俗』(吉川弘文館)、『女人禁制』(吉川弘文館。講談社学術文庫)、『祭祀と空間のコスモロジー』(春秋社)、『ミヤオ族の歴史と文化の動態』(風響社)、『山岳信仰』(中公新書)、『東アジアの民族と文化の変貌』(風響社)、『熊野と神楽』(平凡社)、『日本の山の精神史』(青土社)、『山岳信仰と修験道』(春秋社)、『神楽の文化史』(法蔵館)。編著に『大地と神々の共生』(昭和堂)、『神話と芸能のインド』(山川出版社)、『東アジアの民衆文化と祝祭空間』(慶應義塾大学出版会)、『森羅万象のささやき』(風響社)、『アジアの文化遺産』(慶應義塾大学出版会)等。一九九七年に義塾賞、二〇一四年に第一回木村重信民族芸術学会賞、二〇一六年に第一八回秩父宮記念山岳賞、二〇二二年に第一四回昭和女子大学女性文化研究賞、二〇二五年に第三四回日本山岳修験学会賞を受賞。

注文書		様冊	
(書店印)		ご担当	
法蔵館		定価 3300円	
鈴木正崇 著		増補 女人禁制の人類学	
相撲・穢れ・ジェンダー		ISBN: 978-4-8318-5658-6 C1036	
お電話		お名前	
ご住所			

ご注文はFAX:075-371-0458

法蔵館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

ジェンダー・修験・人類学